

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成24年12月12日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日本マクドナルド株式会社 代表取締役 原田 永幸
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	独自のシステム(マクドナルド エネルギーマネジメントシステム)
適 用 範 囲	直営、フランチャイズを含む京都府立地全店
導 入 年 月 日	平成23年 6月 1日
認 証 番 号	—
基 本 方 針	・気候変動の緩和に向けて、エネルギー資源の効率的な使用を行います。 ・循環型社会構築を求めて、資源の有効活用と再生利用の推進を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	目標は各店舗ごとに独自に設定されます。 本年は全体で対前年15%削減を目標とし、各店舗タイプによって標準ドライブスル-24%、その他ドライブスル-13%、一般店舗10%、小型店舗5%、を基準として設定されます。 目標設定は本社から提供される各種ツールを使用し店舗状況を把握した上で決定されます。 ツール例:ユーティリティ診断ツール、ユーセージコンパリソン、ファイヤーアップスケジュール、エネルギー等
目標を達成するための取組の内容	・機器のON/OFF管理(計画されたON/OFFスケジュールで実行) ・エアコンコントロール(送風・冷房調整、使用場所の最適化、温度調整) ・コンデンサー清掃(冷却ユニットのコンデンサー清掃、冷却効果効率化) ・ユーティリティインベントリー (エネルギー使用状況の確認 → ユーセージコンパリソンでの評価) ・ブランドメンテナンス(スケジュール化された通常メンテナンスの実行)
目標を達成するための取組の進捗状況	ユーティリティ診断ツールによる目標設定、エネルギーツアーによる問題の抽出を踏まえた計画の設定(アクションプラン、ファイヤーアップスケジュール等)は6月で完了。6月後半から具体的なアクションの実行を進行中。 本年は節電対策として、LED照明の導入は改装店舗を中心に導入を展開、照明の節電を中心に、エアコンコントロールを前年+2℃を基準に実施中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	店舗ではユーセージコンパリソンを使ってDaily単位で使用状況を確認し、計画に対する評価を行い、アクションの実行にフィードバックをかけて作業を進めています。
事業活動に係る法令の遵守の状況	店舗運営上の各種法令に関しては内容に準じて遵守しています。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	現在、実施段階であり夏期を過ぎた段階で纏めた評価を行い、次のステップのマネジメントシステムの内容の改善を図ります。 平成23年度は一応の成果があったとし(削減12.4%)、平成24年度に関しては同様のシステムで継続と致しました。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。